

Kansai

会報

No. 114

1992 OCTOBER



関西ハ一モニカ連盟
KANSAI HARMONICA FEDERATION

平成4年10月1日発行 第114号

【目次】

第3回関西ハーモニカ祭.....2	枚方ハーモニカ・コンサート.....14
第一屆台湾口琴節に参加して.....4	奈良県十津川村訪問演奏の思いで.....15
How to Enjoy Ensembl (6).....6	ヘルムート・ホルド・ハーモニカ・セミナー 他.....17
楽しきかな、わが人生.....10	各地の演奏活動.....18
野に咲く花のように.....12	全連ニュース.....19

第 3 回 関西ハーモニカ祭

10月11日 愈々開幕

日 時 平成4年10月11日 (日曜日) 午前9時30分開場 午前10時0分開演

会 場 奈良市ならまちセンター 奈良市東寺林町38 ☎ 0742-27-1151

(近鉄奈良駅から徒歩7分・JR奈良駅から徒歩12分)

主 催 関西ハーモニカ連盟・奈良ハーモニカ協会

後 援 奈良市 奈良市教育委員会 全日本ハーモニカ連盟
 日本ハーモニカ芸術協会 ニッポン・ハーモニカ・クラブ
 F I H 世界ハーモニカ連盟日本支部 関西ハーモニカの友社

入場料 無 料 (入場整理券は発行いたしません)

プログラム

司 会 嶋津 寛子

k =Keyboard, p =piano 赤井由美子・新井尚子 d =drums 赤井博素 Ch = Chromatic

第一部

種 別	演 奏 者	曲 目	種 別	演 奏 者	曲 目
アンサンブル	宇治ハーモニカ・アンサンブルⅢ	① 故郷	独奏	加久田 吉夫	丘を越えて
		② 春風		中田 キヌ	青い山脈
		③ 知床旅情		山田 幸太郎	長崎の女
独奏	上本 暎子	浜千鳥			

第一屆台灣口琴節に参加して

吉 森 正 隆

去る8月27日より31日の4泊5日の日程で、台北工業専門学校で行なわれた行事に参加いたしました。この経緯は、昨年末、台北薪傳の盧 鴻驛先生（SIMBALU）より、我が国の各地ハーモニカ連盟に友好関係を持ちたいとの書状が届き、関西ハーモニカ連盟としては、関西ハーモニカ・ポップスを中心に、連盟会員を含め、ハーモニカ祭りに参加しても良い旨の返事を出しましたが、その際、小生に審査員を委嘱したいとの依頼があり、ついでのこと故、了承しましたところ、ハーモニカ祭りは、台湾側でスケジュールが一杯で、関西口琴合奏団は、10月末に来て欲しい、然し審査と口琴講義、模範演奏のため、単独で来台されたいとの申し入れがあり、再三の辞退にかかわらず現地の新聞紙上にも掲載された事なので、是非にと言うことで参加に踏み切りました。

全日本ハーモニカ連盟とも連絡をとり、1995年度の世界ハーモニカ祭りの日本開催の事もあり、台湾口琴連盟の結成の手助け、佐秀会の支部強化、公認指導員の育成等、幾多の案件を携え、東京から真野会長、斎藤理事長の参加を要請し、かつ全連より多数の資料を送付しました。東京の随行者は、斎藤夫人、山下輝明秘書長（通訳）ジャズのプロ、コントラバス奏者金井英人の5名が自費参加しました。

口琴節は、大きなポスター、Tシャツの作成、30ページのパンフレットと大々的な飾り付けで盛り上げられました。主催は、中華口琴会、高雄口琴会、口琴家雑誌社、口琴芸術交流倶楽部、北区大專口琴社團薪傳聯誼会、贊助双燕楽器公司、凱音楽公司、何故こんなに詳しく書いたかと言えば、台湾では、かつて中国本土にあって、唯一の公認団体である中華口琴会があり、台湾でも唯一の公認団体であり、指導者は会長の王 慶基氏は81才、実弟の王 慶隆氏は上海の指導者、その他の指導者も高齢者が多い、その指導にも偏見があり、ハーモニカ合奏にピアノやギター等を入れたり、マイクを使うなどは、邪道であるとのことで、薪傳会の学生中心の若いエネルギーにブレーキを掛けている有様で、ポスターの主催者のトップに記載の中華口琴会の文字を墨で消される始末で、コンテストもボイコットで、折角の若者の台湾ハーモニカ連盟結成への夢を打ち砕くということになり、参加者の数は少なかったが、学生らは熱心に統制の取れた進行を行ったことは、非常に好感を持てた。

8月27日 台北着、黄石三重奏団の出迎えを受け、兄弟大飯店（Brother Hotel）にチェック・イン東京組の到着を待って、今後の打ち合わせ会議、

28日午前中、台湾テレビの取材、開幕式に続いて円形劇場で前夜祭コンサートが行なわれ、22組の演奏があり、クシコス・ポスト、ジブシーの唄、ハンガリアン舞曲No. 5、枯葉、サバの女王（森本編）ハバナギラ、ロング・ロング・アゴー等の演奏の他、白鳥達夫原編のタンゴ・セビリアの理髪師が演奏されたのは、驚きでした。技巧的には可成りの水準であるが、編曲等音楽性

には今一步の感じでした。また、コミカルな日本の二人羽織の芸でハーモニカを吹いたのは、特に印象に残った。このほか、テープに合わせてハーモニカを動かし、果ては踊り出すと言う趣向も面白かったが、中華口琴会のお偉方が見たら何と言うかと思ったが、これが若者のパワーであろう。

このほか、視聴室では全連より持参のビデオ鑑賞会が催され、世界ハーモニカコンテストの模様、芸術協会の定期演奏会、新井克輔、松田幸一氏のビデオ等が映し出され、感銘を与えた模様です。

翌29日は台湾テレビ、朝のニュース番組で、斎藤氏と小生の演奏が放映されました。午前中は小生の復音ハーモニカ講座が、円形大劇場で山下輝明氏の同時通訳で演奏を交えて90分、他の会場では指揮、編曲を斎藤理事長担当、その他クロマチック講座、打楽器の講座が催されました。

以上が技術研修で、他に議題検討が(口琴研究)、2ヶ所で実施されました。

午後コンテストに入り、クロマチックと合奏部門を斎藤理事長が担当し、小生は二重奏、独奏部門を担当、それぞれ中々の水準で良い指導者がおれば1・2年の内に日本の水準に追い付くと思われる組が沢山ありました。

コンテストの結果は、(合奏)、優勝トルコ・マーチ、2位ラ・クンバルシート、3位、剣の舞、(二重奏)、優勝 椿姫タンゴ 2位ロング・ロング・アゴー 3位 チャルダス、(独奏)、優勝 荒城の月幻想的変奏曲、2位ホーム・スイートホーム、3位 カルメン、クロマチックは、合奏部門に出演ソロ無し、夜は、入賞者の発表演奏と、日本側来賓の演奏、小生折から台風の襲来で、曲目変更、タンゴ台風と、牧民新歌、龍的傳人、アンコール、ラ・クンバルシート 斎藤理事長、草津節、こきりこ節、真野会長のアコーディオン・ソロ2曲と斎藤氏、と重奏テイク・ファイブ、最後に台湾の入賞者と中華民国頌歌を合奏、

台湾側からミニ・ハーモニカ、10穴(民謡口琴)クロマチックのソロ出演、復音は時間の関係もあり出演中止。

8月30日は交流検討会、1、目前世界口琴音楽的発展動態概況 2、如何使口琴音楽大衆化、普遍化、3、如何 提升口琴音楽水準、の三議題の討議、

台湾口琴連盟結成へのアドバイス、来年の全日本ハーモニカ連盟の総会への参加要請、中華口琴会との円満な提携運営等の、話し合いが行なわれた。

午後、日本口琴芸術協会の支部強化、台北、台中、高雄による台湾支部連合会の結成の示唆、公認指導員の受験促進等の話し合いを進めた。

以上が口琴節の概要です。台風接近で、4日間、雨の降り続けで、ホテル、会場、レストランの往復でしたが、31日空港へ行く一時間を利用して、盧先生 蕭小姐が中山記念堂を案内してくれ、雨も上がり、やっと台湾らしい暑さを味わった。

慌ただしい毎日であったが、ハーモニカを愛する若者の息吹に、心強いものを感じると同時に、我々も更なる努力をせねばならぬと、堅く心に誓った。

How To Enjoy Ensemble (6)

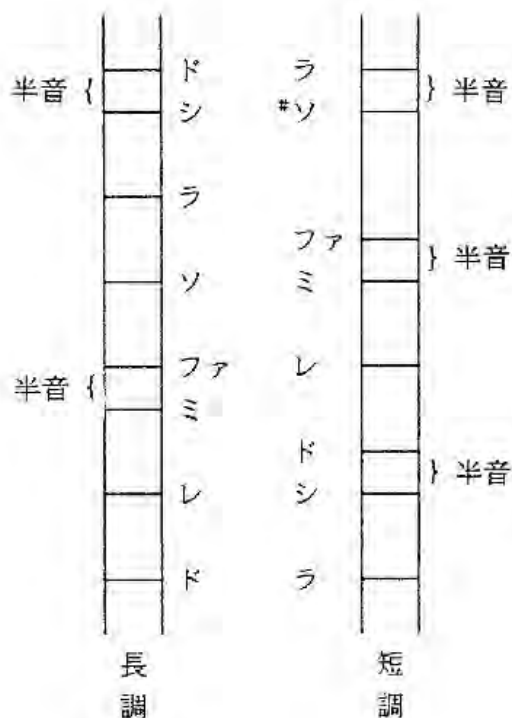
白鳥達夫



これが短調の音階です。音の並び方を長調の音階と比較したのが右の図です。

長調では半音の箇所（ピアノで言えば白鍵が続いていて間に黒鍵のない部分）がミ→ファと、シ→ドの二つしかないのに、短調ではシ→ド、ミ→ファそして*ソ→ラの三つも出てきます。このことが、短調の曲を幾分淋しい気分に行っているのです。

次の「四季の歌」でそのセンチメンタルな気分を出して見て下さい



四季の歌

荒木とよひさ

高	4 / 4	3	3 2	1 2 1 7	6	6	6	-	4	4 3	2 1 2 4	3	-	-	-	
和	4 / 4	Am // // // //				.	/.	.	Dm // // // //				Am // // // //			
低	4 / 4	6	0 6	6	0	.	/.	.	2	0 2	2	0	6	0 6	6	0
	4	4 3	2	2 4	3	3 1	6	6	7	3	2 1 7 1	6	-	-	-	
	Dm // // // //				Am // // // //				E7 // // // //				Am // // // //			
	2	0 2	2	0	6	0 6	6	0	3	0 3	3	0	6	0 6	6	0

イ短調での使用和音は Am、Dm、とE₇です。



Amのコード ($\overset{\text{ラ}}{6} \overset{\text{ド}}{1} \overset{\text{ミ}}{3}$) が主和音 (Tonic Chord) で、落ちついた感じ。

曲の初めも終りもこのコードが用いられます。

Dmのコード ($\overset{\text{レ}}{2} \overset{\text{ファ}}{4} \overset{\text{ラ}}{6}$) が下屬和音 (Subdominant Chord) で明るい感じ。

E₇のコード ($\overset{\text{ミ}}{3} \overset{\text{ソ}}{\#5} \overset{\text{シ}}{7} \overset{\text{レ}}{2}$) が属七の和音 (Dominant Seventh Chord) で不安定な感じ。

前回でハ長調 C、F、G、(G₇) のコード進行についてご説明しました。

主和音のCや下屬三和音のFは、他のどこへでも進めますが、属七のG₇からは原則として主和音Cへの一方通行と申し上げました。

短調の場合でも主和音のAmから、下屬のDmまたは属七のE₇いずれへも進めます。

下屬のDmからも、主のAm、属七のE₇どちらでも進めます。

属七のE₇は主のAmへのみ進むのが自然なのですが、これは長調の場合と違って下屬のDmへ進むことも時々あるようです。

ですから、例えば四季の歌の4小節のAmは、E₇に変えても、そんなに不自然ではありません。

次の「出船」も属七のE₇から下屬のDmへ何度も進行しています。

出

舟谷

杉山 長谷夫作曲
白鳥 達夫 編曲

高 4/4	$\dot{3} - 3 -$	$\dot{1} - 1 -$	$6 - 4 2$	$3 - - -$
和 4/4	Am - / -	Am - / -	Dm - - -	E ₇ - - -
低 4/4	$\dot{6} - 1 -$	$3 - \dot{6} -$	$2 - - -$	$3 2 1 \dot{7}$

$0 \ 3 \ 6 \ 7$	$\dot{1} \ \underline{\dot{1}} \ 7 \ 6$	$\dot{2} \ \underline{\dot{2}} \ \dot{3} \ \dot{4}$	$\dot{4} \ \underline{\dot{4}} \ \dot{3} -$
Am / / /	Am / / /	Dm / / /	Dm / Am /
$\dot{6} \ 0 \ \dot{6} \ 0$	$\dot{6} \ 0 \ \dot{6} \ 0$	$2 \ 0 \ 2 \ 0$	$2 \ 0 \ \dot{6} \ 0$

$0 \ \dot{2} \ \dot{3} \ \dot{1}$	$7 \ \underline{\dot{1}} \ 6 \ 4$	$6 \ \underline{7} \ 6 \ 4$	$3 - \cdot 0$
Dm / Am /	E ₇ / Dm /	Dm / / /	E ₇ / / /
$2 \ 0 \ \dot{6} \ 0$	$3 \ 0 \ 2 \ 0$	$2 \ 0 \ 2 \ 0$	$3 \ 0 \ \underline{3343}$

$0 \ \dot{2} \ \dot{2} \ \dot{3}$	$\dot{4} \ \underline{\dot{4}} \ \dot{4} \ \dot{3}$	$\dot{2} \ \underline{\dot{2}} \ \dot{3} \ \dot{1}$	$7 \ \underline{7} \ 7 -$
Dm / / /	· / ·	Dm / Am /	E ₇ / / /
$2 \ 0 \ \dot{6} \ 0$	· / ·	$2 \ 0 \ \dot{6} \ 0$	$3 \ 0 \ \underline{3217}$

$0 \ 6 \ 6 \ 7$	$\dot{1} \ \underline{\dot{1}} \ 7 \ 6$	$3 \ \dot{1} \ 7 \ \underline{7}$	$6 - - 0$
Am / / /	· / ·	Am / E ₇ /	Am / / 0
$\dot{6} \ 0 \ 3 \ 0$	· / ·	$\dot{6} \ 0 \ 3 \ 0$	$\underline{6317} \ \dot{6} \ 0$

$\dot{3} - 3 -$	$\dot{1} - 1 -$	$6 - 4 2$	$3 - - -$
Am - / -	Am - / -	Dm - / -	E ₇ - - -
$\dot{6} - 1 -$	$3 - 6 -$	$4 - 2 -$	$3 - - -$

今度はまたハ長調の曲に戻りますが、ハ長調の和音、C、F、G₇、の他にイ短調のAm、Dm、E₇、も顔を出します。

ア ニ ー ロ ー リ ー

スコットランド民謡

高 4/4	<u>3. 2</u>		1. <u>1</u> <u>i. 7</u>		7 6 0 6		5. <u>3</u> 3 <u>2 1</u>		2 - .
和 4/4	0		C - C -		F - F -		C - C -		G ₇ - .
低 4/4	0		1 - 1 -		4 - 4 -		1 - 1 -		5 - .
<u>3. 2</u>		1. <u>1</u> <u>i. 7</u>		7 6 0 6		5. <u>3</u> 2. <u>1</u>		1 - .	
0		C - C -		F - F -		C - G ₇ -		C - .	
0		1 - 3 -		4 - 4 -		5 - 5̇ -		1 - .	
5		<u>i. i</u> <u>2. 2</u>		3̇ - . 5		<u>i. i</u> <u>2. 2</u>		3̇ - .	
0		C - G ₇ -		C - . 0		Am - Dm -		E ₇ - .	
0		1 - 5̇ -		1 - . 0		6 - 4 -		3 - .	
<u>3̇ 2̇</u>		<u>i. 7</u> 6 <u>i 6</u>		5 3 - <u>3 2</u>		<u>1 i</u> 3 3. <u>2</u>		1 - .	
0		F - - -		C - . G ₇		Am - G ₇ -		C - .	
0		4 - - -		1 - . 5̇		6̇ - 5̇ -		1 - .	

三段目でメロディが 5 | i. i 2. 2 | 3̇ - . を2回繰返すのですが、和音は単調な繰返しを避けて、変化をつけています。ハ長調の主要三和音C、F、G₇以外に色々な和音を利用して曲を面白くしています。

次回から少しずつ説明を加えて行きましょう。

楽しきかな、わがハーモニカ人生

関西ハーモニカ連盟常任顧問

関西ハーモニカポップス会長 酒井 涼 齋

第 2 話

近江俊郎、そしてハーモニカを愛した歌手たち

去る7月5日歌手近江俊郎さんの訃報が伝えられたが、ハーモニカを通じて彼と関わりを持った私は、過ぎし日の思い出にひたると共に、次々と10数名の歌手との出会いを思い浮かべるのであった。昭和11年から私が所属したミヤタハーモニカバンドはコロンビア専属であり、宮田先生は会社の幹部であったので、バンドは毎月数枚のレコード吹き込みがあり(よく売れた時代)東京日比谷の東拓ビルของบริษัทにもよく通った。そこに歌手達がいまし演奏会で共演も多かったので、10数名の歌手と親しむ機会に恵まれた。その人達はハーモニカ全盛時代でもあったので、皆ハーモニカの音色を愛していた。

その一人の近江さんは武蔵野音楽学校から入社したが、私は七年間の出征があったので知り合ったのはバンドに復帰した戦後からである。私と同年齢であるため近親感もあったが、私がしめていた上海から持ち帰った英国製のエンジ色のネクタイをほめるので進呈したこともあった。彼のヒット曲「悲しき口笛」や「山小屋の灯」をバンドとよく共演もしたが、「湯の町エレジー」に思いを残して昭和25年夏私は大阪へ去った。

それから20年経った昭和46年秋、万博会場跡でランオンズクラブの大会が国際会長(フランス人)を迎え5千人の会員が集まり盛大に開催されたが、私は接待委員を担当したのでアトラクション出演者の控室へ挨拶に行くと、大阪の歌謡漫談の〇氏と歌手榎本美佐江と共に近江さんがいて20年ぶりの再会であった。互いに忙しいさ中とて短時間の会話しかできなかったが、超一流歌手になっても彼は昔のまま、律儀で腰の低い人柄は変わっていなかった。同席の〇氏(今テレビ素人ノド自慢の審査員)のその時の傲慢無礼な態度とは対照的であった。この場が彼と会った最後となったが、その後も時折テレビに見る彼の生真面目な態度は、とかく高慢になる芸能者の中で、藤山一郎と双壁をなす人格者として惜しんで余りある。



晩年の近江さん

同じコロンビアの霧島昇も忘れぬ人である。昭和13、4年頃のコロンビアでは伊藤久男と共に代表的歌手で、ミスコロンビアの松原嶽と歌った「愛染かつら」は天下を風靡していた。その14年にミヤタバンドは霧島松原のコンビと浜松で演奏したが、発熱した霧島を旅館で看病する松原の姿を見て、私達は只ならぬ仲を評さしたものだ。その直後に出征した私は戦地で二人の結婚を知り、さもありがたみと祝福した。18年秋戦地から出張し久しぶりに東京に帰った私は、四谷の宮田邸に近い霧島家を訪れ、軍服姿の私が愛児

を膝に乗せ夫婦と写真を撮ったが、その家も戦災で焼けてしまった由。戦後復帰した私は演奏会では、引退した松原が手作りの弁当を辞さんして寄り添っている仲睦まじさにアテられたものだ。

10数年前に太閤園で開かれたライオンズクラブの催しに、霧島が出演したので楽屋を訪れ久交を温めたが『息子さんはどうしていますか』ときくと、今は音大の教授をしています』と語る彼は幸福そうであった。それから間もなく彼は逝ったが、後を追うように松原も亡くなった。その人生は愛染かつらの主題歌「旅の夜風」の歌詞そのままの美しいものであったに違いない。

戦後「上海帰りのリル」で高音の鈴のような美声を聞かせた津村謙は、復員間もない純情な好青年で、草津に演奏旅行の時は宿泊先で、ピアノで弾きがたりした美声は今も耳に残っている。その彼も宝塚出身の大国阿子と大恋愛の末結婚し、杉並区の私の家にほど近いところに新居を構えたが、深夜酔って車で帰り、ガレージでねむってしまい、そのまま排気ガス中毒で事故死したのは悲惨であった。岡本敦郎や鶴田六郎は、度々ステージを共にしたが親しむ機会はなかつた。

女性歌手となると、出征前では渡辺はま子や広島女学校音楽教師から上京間もなく、まだ垢抜けしないまゝの二葉あき子、宇都宮陸軍病院慰問旅行を共にした奥山彩子（戦地から文通したもの）。宵待草や荒城の月を歌っていたが、高慢ぶりが鼻についた若き日の高峰三枝子、ざっくばらんの姐さん赤坂小梅。下駄屋のおかみさんから古関裕而先生の「船頭可愛や」で一躍スターダムに乗り、丸い体を東拓ビルの廊下一杯に肩で風を切って歩いて音丸。そして私と小学校同窓のメ香姐さん（東京のNHKの農村に送る夕べに度々に共演し「学芸会でよくハーモニカを吹いていたね」とひやかされたもの）。

大河内伝次郎の相手役女優伏見直江の妹で、松竹の歌うスター伏見信子がバンドの練習所へよく来ていた。その頃「急げ幌馬車」で人気のあった松平昂との艶話があったが和服の似合う可憐さであった。それが10年後に大阪で二人に邂逅した時は、あの美女がこんなお婆さんになるかと驚いた。ポップス定演に招き、急げ幌馬車を演奏に感激した彼女が、ステージから松平の思い出など挨拶したことがあった。

渡辺はま子は上海の軍の慰問に来たとき、恒例の軍司令官以下の宴会の場で『私は兵隊の慰問に来たけれど芸者ではありません』とお酌を拒否したことで大揉めになったことがあった。戦後宮田先生の叙勲のパーティーで同席したので私は『あの時立場上つらかった』と言うと笑っていたが、その気概見識は私の最も尊敬する歌手である。

戦後バンドに復帰した私は、人気絶頂の奈良光枝らと山梨県塩山市へ演奏旅行に出た。新宿発の中央線は食糧の買出し客でス詰めで皆放ればなれになり、私は奈良光枝と二人だけとなった。立ちばっなし3時間の鈍行を奈良の細い体と密着させ、細い鼻柱を眺めながらの苦行？は、今もニヤリする嬉しい思い出だ。しかしそれらの往年の歌手達も今の若い者に知る人はなく、老いたるハーモニカ吹き戯れ言となってしまった。

「裸の大将」主題歌

野に咲く花のように

小林 亜星作曲
織田 太郎編曲

C	B
---	---

4/4

tr —

5 — 5645 3432 1271 676 | 5724 5724 5 —

4̇3̇2̇1̇ 7654 3217 6 — | 54 35. 5672 | 17 61. 4321

7 7 1 2 2 7 | 5 4 3 2 | 5 4 3 5. 5672 | 17 64. 5645

3 3 1 7 7 2 | 1 — — 54 || 3 3. 0323 | 4 56 6 6766

5443 2 1 1 | 5 — — 54 | 3 3. 0323 | 4 56 6 66

5 55 4432 | 1 1432 1 11 | 6 67 1 — | 7753 5 1234

5667 1111 | 7767 5 6667 | 1111 7 7 7 | 6456 5 12

3335 4 4. | 1112 111 2345 | 1111 7 7 7 | 6456 5 12

3335 4 4. | 1112 123 4567 | 1 — 7 6 | 5 5 6 5 —

7 — 6 7 | 6 5 5 4 5432 | 1. 1 1 3 | 5655 5123

$\frac{4}{\Delta} \frac{4}{\Delta} \frac{3}{\Delta} \frac{2}{\Delta} \frac{7}{\Delta} \frac{6}{\Delta}$	$\frac{5}{\Delta} - \frac{5567}{\Delta \Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{1}{\Delta} - \frac{3}{\Delta} \frac{2}{\Delta}$	$\frac{1767}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{555}{\Delta} \frac{66}{\Delta}$
$\frac{5}{\Delta} - \frac{7}{\Delta} \frac{6}{\Delta}$	$\frac{5543}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{2}{\Delta} \frac{3}{\Delta}$	$\frac{4}{\Delta} \frac{4}{\Delta} \frac{4}{\Delta} \frac{5}{\Delta} \frac{5}{\Delta} \frac{5}{\Delta}$	$\frac{6667}{\Delta \Delta \Delta} \frac{12}{\Delta} \frac{3}{\Delta}$
$\frac{2176}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{5672}{\Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{1}{\Delta} - \frac{10}{\Delta \Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{54}{\Delta}$	$\frac{3}{\Delta} \frac{3}{\Delta} \frac{0323}{\Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{4}{\Delta} \frac{56}{\Delta \Delta \Delta} \frac{6}{\Delta} \frac{6712}{\Delta \Delta}$
$\frac{3443}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{2}{\Delta} \frac{1}{\Delta} \frac{7}{\Delta}$	$\frac{5}{\Delta} - - \frac{54}{\Delta \Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{3}{\Delta} \frac{3}{\Delta} \frac{0323}{\Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{4}{\Delta} \frac{56}{\Delta \Delta \Delta} \frac{6}{\Delta} \frac{66}{\Delta \Delta}$
$\frac{5}{\Delta} \frac{55}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{4432}{\Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{1}{\Delta} \frac{1353}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{1}{\Delta} \frac{11}{\Delta}$	$\frac{6}{\Delta} \frac{67}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{i}{\Delta} -$	$\frac{7753}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{5}{\Delta} -$
$\frac{0667}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{iiii}{\Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{7767}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{5}{\Delta} -$	$\frac{iiii}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{7}{\Delta} \frac{7}{\Delta} \frac{7}{\Delta}$	$\frac{6456}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{5}{\Delta}$
$\frac{3335}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{4}{\Delta} \frac{4}{\Delta}$	$\frac{7712}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{1234567}{\Delta \Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{3333}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{2}{\Delta} \frac{2}{\Delta} \frac{2}{\Delta}$	$\frac{4234}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{3}{\Delta} \frac{12}{\Delta}$
$\frac{3335}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{4}{\Delta} \frac{4}{\Delta}$	$\frac{7712}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{1}{\Delta} \frac{1353}{\Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{3}{\Delta} - \frac{4}{\Delta} \frac{3}{\Delta}$	$\frac{2}{\Delta} \frac{1}{\Delta} \frac{7}{\Delta} \frac{1}{\Delta} -$
$\frac{7123}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{4567}{\Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{3}{\Delta} - \frac{4}{\Delta} \frac{5}{\Delta}$	$\frac{5}{\Delta} - \frac{i}{\Delta} \frac{7}{\Delta}$	$\frac{6}{\Delta} \frac{5}{\Delta} \frac{5}{\Delta} \frac{5}{\Delta} \frac{5556}{\Delta}$
$\frac{7766}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{5543}{\Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{2}{\Delta} - \frac{2}{\Delta} \frac{6}{\Delta} \frac{7}{\Delta}$	$\frac{1}{\Delta} - \frac{1713}{\Delta \Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{5}{\Delta} \frac{5}{\Delta} \frac{4}{\Delta} -$
$\frac{2}{\Delta} \frac{3}{\Delta} \frac{4}{\Delta} \frac{6}{\Delta}$	$\frac{5}{\Delta} - \frac{67}{\Delta \Delta \Delta \Delta} \frac{5544}{\Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{3}{\Delta} - \frac{2}{\Delta} \frac{i}{\Delta}$	$\frac{7}{\Delta} \frac{i}{\Delta} \frac{6}{\Delta} \frac{5513}{\Delta}$
$\frac{5}{\Delta} \frac{4}{\Delta} \frac{3217}{\Delta \Delta \Delta \Delta}$	$\frac{i}{\Delta} \frac{1}{\Delta} \frac{1}{\Delta} \frac{1}{\Delta} -$	$\frac{i}{\Delta} \frac{3}{\Delta} \frac{3}{\Delta} \frac{3}{\Delta} -$	

〔大盛況 枚方ハーモニカ・コンサート〕

幸佐美進

菊人形で知られる枚方公園のある大阪府枚方市の、市立牧野公民館主催の「ファンタスティック・ハーモニカ・コンサート」が風薫る5月16日開催されました。これは、公民館長の深いご理解とご協力により実現したものです。内容は次の通りです。

■「ハーモニカ研修会」 15時半より

- | | |
|------------------|------|
| ① ハーモニカの修理と調律法 | 岩崎先生 |
| ② コード・ハーモニカ演奏のコツ | 大矢先生 |
| ③ バス・ハーモニカ演奏のコツ | 平井先生 |
| ④ アンサンブルの演奏指導 | 森本先生 |

洛水ハーモニカ・レディースの皆さんが「山のロザリオ」で指導を受けました。

■「ファンタスティック・ハーモニカ・コンサート」19時より

第1部

□ 厚木ハーモニカ・トリオ

* 森のくまさん * 出 船 * ハバナギラ

□ 岩崎 重昭 独奏 * 夕焼け小焼け * 荒城の月

第2部

□ 森本 恵夫 独奏 * 禁じられた遊び * マラゲーニャ

□ ファンタスティック・ハーモニカ・カルテット

* ラ・クンバルシータ * 青いカナリヤ * 涙の連絡船

* オリーブの首飾り * ウイリアム・テル序曲

アンコール曲 道化師のギャロップ

大阪と京都の中間に位置する田舎町での初の催しである丈に、200席の狭いホールではありましたが、どのくらい来場頂けるか随分心配致しました。

研修会は60名のご参加を頂き、熱心に勉強致しました。2時間半の研修会にもかかわらず、時間が短かったとの声もあった程でした。

コンサートはチケット発売半月で売り切れる程の人気の、当日お越しの方には空席待ちをして頂き、やっと入場頂く程の満席状態となりました。

狭い会場だけに演奏者と客席に緊密感があり、息づかいが伝わるような熱気溢れるコンサートとなりました。

今回のコンサートはレベルの高いハーモニカ演奏を関西の人々にも聞いて頂き、ハーモニカ人口を拡大すると共に関西地区のハーモニカ演奏レベルの向上に大きく貢献できたものと確信致します。「さすが世界一の演奏」と嘆息をついておられる方が多く、大満足で来年も是非開催してほしいとの強い要望がありました。

(関西ハーモニカ連盟 常任理事)

奈良県十津川村

訪問演奏の思い出

飛田保雄

先般十津川村住民の方々より、宇治ハーモニカ・スクールに対し、村内の小学校児童に、生の演奏を聞かせてやってほしいとの要望があり、小学校と打合わせの結果、下記によりハーモニカ演奏会を実施することに決まりました。

ちなみに十津川村は、紀伊半島の中心部に所在し、近鉄八木駅よりバスで約4時間、目的の小学校へは更に村営バスにて約30分のところにあり、面積は670 Km² 宇治市は67Km² でありますので丁度10倍になります。

演奏実施校の西川第2小学校は児童数11名であり、村内には同規模の学校もいくつかあります。宇治ハーモニカ・スクールでは今回の事業実施の意義を、豊かな環境にめぐまれ暮す都市住民が、あらためて文化的環境にめぐまれぬ中で、みどりと祖先伝来の土地を守り頑張っている、へき地の住民へのお礼と激励と位置づけております。

今、かけがいのない地球を守ることは、先ずみどりを守ることにあるとの考えが全世界に広まりつゝあるとき、この訪問はまことに意義深きものと考えております。

以下、訪問した概況は次のとおりです。

9月4日、残暑甚だ厳しい日、朝9時30分、宇治市大久保、国道24号線を出発、「人恋うは、悲しきものと、平城山の」の歌にある奈良市平城山を経て、歴史に名高い橿原に入り、二上、葛城、千早赤坂城跡を持つ金剛山を右手に見ながら、紀伊半島の中心部奈良県吉野郡十津川村に入りました。時折り幾つかの水豊かなダム湖 トンネルを経て、人家もまばらな緑また緑、山また山の続く中、突然想像以上に大きな真白い建物が現われました。

それは丁度中世のヨーロッパに建てられた「山中の古城」を連想させる、神秘的な感をすら抱かせるものでした。時計を見ると午後3時30分、出発してから6時間の道程でした。

聞けば20年前、ダム建設の補償として幾つかの小学校を統合し、通学バスの使用を前提として、児童96名を持って建設されたとのことで、それだけに20年の歳月を経たとはいうものゝ、体育館、運動場も大きく広く、音楽室、普通教室、給食設備も整った堂々たるものでした。しかし現状は、児童数わずか11名で、文字どおり過疎の学校でした。

到着後、直ちに持参した音響設備をセットし、十津川村でも珍しいと教頭先生がしきりに言われる残暑の中で、2時間、メンバー5人汗だくでリハーサルをしました。 行ない

当夜は十津川で一泊、翌日9時30分に再び小学校へ、開演5分前迄再びリハーサルをしました。会場には児童11名の外、学校職員、父兄、村の人々等37名

が集まりました。

後木校長先生が挨拶の冒頭に「皆さん、待ちに待ったハーモニカが着ました」と言われた言葉が印象に残りました。

演奏は、会場が文字通り一体となった中で行なわれ、終わったとき校長先生が「出演者の方々が、昨日も、今日も、ビックリする程熱心になりハーサルをしておられる姿を見て、いかに真剣にこの演奏会に、心から取り組んでおられるかと言うことがわかり、感謝にたえません」と、お礼の言葉の中に言われたことが、私達の心を打ちました。

日本三大秘境の一つと言われる奈良県十津川村、宇治市の丁度10倍の広さの670平方キロメートルの土地を有し、人口わずか6,000人の村で、歴史と伝統と、緑を守りながら生きぬいておられる方々に、恵まれた環境の中で暮す都市住民として、さゝやかではあっても、なにかをなし得た喜びを持ちえたことに、改めて感激と幸せを心の中に感じたのでした。

宇治ハーモニカ・スクール代表 関西ハーモニカ連盟事業部長

関西地区のハーモニカ教室・アンサンブル等
(新設追加分)

(名 称)	(所 在 地)	(代 表 者)	(連 絡 先)	(定例練習日)
NHK神戸 文化センター ハーモニカ教室	神戸市中央区 東川崎町1-8-1 オーガスタプラザ 13F ☎078-360-6198	白鳥 達夫 (H.4. 10. 1.開講)	☎ 06-728-7951	第2第4 金曜日 P.M.6:00~8:00
J & M ハーモニカ教室	宇治市小幡御蔵山 39-162	村田 潤	☎ 0774-32-1063	毎週 木曜 金曜日 P.M.2:00~5:00
J & M ハーモニカ 醍醐教室	京都市伏見区醍醐 合場町 8-12	同 上	☎ 0774-32-1063 ☎ 075-571-5888	毎週 木曜日 P.M.2:00~5:00
J & M ハーモニカ 藤森教室	京都市伏見区 深草烏居崎町 藤森神社内	同 上	☎ 0774-32-1063	毎週 月曜日 P.M.2:00~9:00

町田明夫氏をゲストに世界民謡を吹く会

関西ハーモニカの友社では、クロマチック・ハーモニカの代表的奏者 町田明夫氏をゲストに、次のとおり世界民謡を吹く会を開催されます。

と き 平成4年11月29日(日) 午後2時

ところ 東大阪市昭和町1 小坂楽器瓢箪山支店サロン

(参加人員に限りがありますので必ず下記へご連絡下さい。)

※ お問い合わせ先 関西ハーモニカの友社 ☎ 0729-87-2300

各地の演奏活動

- 京都市主催 92' 土曜コンサート
 - と き 平成4年6月27日(土) 午後6時30分
 - ところ 京都市円山公園音楽堂 主催 京都市
 - 京都ハーモニカ・クワルテット
 - *道化師のギャロップ *愛の讃歌 *ひばり *ハバナ・ギラ
 - *エル・チョコロ *黒い瞳 *ヴァルセンティエノ
 - 小林ファミリー・トリオ
 - *ナイト・トレイン *ラ・クンバルシータ
 - *タンゴ・ボレロ *グレン・ミラー メドレー
- 洛水ハーモニカ同好会 有隣学区敬老会
 - と き 平成4年9月20日(日)
 - ところ 京都市立洛央小学校
 - 合奏 *「花かげ」*高原列車は行く
- 同 京都市生涯学習フェスティバル・ステージ大発表会
 - と き 平成4年11月7日(土)
 - ところ 京都市社会教育総合センター
 - 合奏・重奏 *黒田節 *瀬戸の花嫁 他数曲
- ハーモニカ愛好会 公民館まつり
 - と き 平成4年9月13日(日)
 - ところ 尼崎市立大庄公民館 合奏 1.山小屋の灯 2.忍ぶ雨
3.丘を越えて
- ハーモニカ愛好会 第7回たのしいハーモニカ発表会
 - と き 平成4年10月27日(土) 午後2時~4時
 - ところ 尼崎市立大庄公民館 合奏・独奏・重奏
- 奈良ハーモニカ同好会 第24回三郷町民文化祭
 - と き 平成4年11月1日(日) 午前9時~午後4時
 - ところ 三郷町コミュニティセンター
 - 合奏 「夏の思い出」 「マイウエイ」

ハーモニカ・アコーディオン

第 134 号

H4. 9. 15.

毎月二回発行【1日】 【15日】

日	曜	場	略号	時間	内容	お問い合わせ先電話番号
9月18日	(金)	H・A	坂早市『メルサホール』	2PM~	『鈴木 謙&御喜美江 ジョイント・コンサート』	0582-66-3030
9月18日	(金)	A	自由『梅山荘5F』	6PM~	『第8回カントリーミュージックフェス・日吉武ホカ』	梅山荘 直接問い合わせ
9月19日	(土)	H	市ヶ谷『ルーテル市ヶ谷センター』	6PM~	『鈴木 謙と仲間たちによるコンサート』	03-3919-1890
9月20日	(日)	H・A	日暮里『サニーホール・コンサートサロン』	0:30PM~	『三輪ハーモニカ・アコーディオン教室発表演奏会』	03-3803-3655
9月20日	(日)	H	横浜市『高島屋楽器売場6F』	1PM~	『トンボ・ハーモニカ・デモ演・内田・飯谷』	045-311-5111
9月20日	(日)	A	八ヶ岳『八ヶ岳音楽堂』	6PM~	『御喜美江アコーディオン・リサイタル』	0267-98-2131
9月20日	(日)	H	山形県鶴岡市『市民文化会館』	2PM~	『東北ハーモニカフェスティバル'92 鶴岡20回記念協賛』	0235-23-2435
9月20日	(日)	H	台東区『松葉小体育館』	2PM~	『台東ハーモニカサークル発表会・アコーディオン演奏有り』	03-3843-6761
9月22日	(火)	H	神奈川県『老人ホームレストヴィラ座間』	正午~	『老人ホーム器楽・大矢博文と相武台サークル出演』	0462-21-5930
9月23-24日	祭・木	A	埼玉県越生『厚生年金休暇センター』		『東京アコーディオン倶楽部秋の合宿・参加募集』	0468-34-1906
9月24日	(木)	H	取手市『戸部公民館』	1:30PM~	『初心者ハーモニカ講習会・計5回毎木曜・間中 勤』	0297-78-3081
9月25日	(金)	A	渋谷区『渋谷公会堂』		『テレビ朝日・題名の無い音楽会収録・御喜美江アコ』	03-3295-7586
9月26日	(土)	H	品川区『東五反田『スタジオハーブ』	7PM~	『ハーモニカデスマッチラウンド17回・寺沢博義』	03-3280-1180
9月27日	(日)	A	日暮里『サニーホール大ホール』	1:30PM~	『TAMアコーディオン・コンサート』	0425-22-5568
9月27日	(日)	A	船橋市『船橋ららびーと』		『御喜美江アコーディオン・リサイタル』	03-3295-7586
9月27日	(日)	H	福岡市『リップファイブ・ブライダルセンター』	1PM~	『大石昌美デナ・ショー・昔の音をたずねて』	092-581-5320
9月27日	(日)	H	杉並区『方南会館』	1:30PM~	『ヤング・ハーモニカリεύジョン'92・参加募集中』	03-3317-0995
10月3日	(土)	H	厚木市『厚木文化会館小ホール』	1PM~	『神奈川県器楽大会・岩崎・厚木トリオと森本よしお』	0462-21-5930
10月4日	(日)	H	北海道帯広市『第5中学校』	10AM~	『五中文化祭・ベアーズ・ハーモニカ・クインテット出演』	0155-23-1254
10月5日	(月)	A	葛飾区『よみうり文化会館』	6:30PM~	『初心者アコーディオン教室開講・毎月3回指導・津津克己』	03-5699-1151
10月10日	(土)	H	札幌市『メッセ・ホール』	1PM~	『'92全道ハーモニカ・コンサート』	0155-23-1254
10月11日	(日)	H	奈良市『ならまちセンター』	10AM~	『第3回関西ハーモニカ祭・関西ハーモニカ連盟主催』	075-361-3982
10月11日	(日)	A	西国分寺『いずみホール』	1PM~	『TAMメンバーズ・アコーディオンコンサート』	0425-22-5568
10月11日	(日)	H	渋谷区『明治神宮会館』	0:30PM~	『全国心身障害者芸術コンクール・元林秀敏ハーモニカ演奏』	0462-21-5930
10月11日	(日)	A	群馬県新田郡板橋町『中央公民館』	1PM~	『第11回群馬アコーディオンセンター演奏会』	0272-33-5040
10月14日	(水)	H	葛飾区『よみうり文化会館』	10:15AM~	『初心者・マスタークラス・ハーモニカ講座開講毎月2回』	03-5699-1151
10月18日	(日)	H	海老名市『上星小学校』	10:20AM~	『親子の為のハーモニカコンサート・岩崎・厚木トリオと森本』	0462-21-5930
10月18日	(日)	H	北海道・広尾町		『広尾町野郎開基100年イベント・ベアーズハモクインテット』	0155-23-1254
10月18日	(日)	H	鶴ヶ島市『働く婦人の家ハーモニ』	2:30PM~	『鈴木 謙ハーモニカ・リサイタル・ピアノ美野善樹』	03-3353-2242
10月19日	(月)	H	仙台市泉区泉中央駅ビル6F『NHK文化』	6PM~	『ハーモニカ初心者教室開講・月2回(指導・林・間中)』	022-374-2987
10月23日	(金)	H	川崎市『楽楽堂』		『鈴木 謙ハーモニカ・リサイタル・ハーブ松井久子』	03-3353-2242
10月24日	(土)	H	大田区西蒲田『よみうり文化・蒲田』	10:40AM~	『初心者ハーモニカ教室開講・毎土第2・4指導者各藤本ホカ』	03-3735-1950
10月24日	(土)	H	相模原市『くぬぎ台小学校』	4:30PM~	『親子の為のハーモニカコンサート・岩崎・厚木トリオと森本』	0462-21-5930
10月25日	(日)	H	相模原市『相武台公民館』	10AM~	『地域ふるさとまつり・相武台ハーモニカ・サークル出演』	0462-21-5930
10月30日	(金)	H	国立市『国立リヴアップール』	7:00PM~	『ハーモニカ・ギグ 吉田有信ホカ・ゲスト八木の&お』	0425-77-4766
10月31日	(土)	H	横浜市『大倉山記念会館ホール』	5:30PM~	『第4回大倉山の芸術祭・はらこす横浜出演』	045-413-1160

【ハーモニカ・テレホンサービス】いつ・どこから・あなたでも・ダイヤルしてお楽しみ下さい。

【0422-21-4929】9月『波木圭二・ジャズ ハーモニカの世界』 ベサメムーチョ

【0299-83-4929】9月『町田明夫・多重録音クロマチック・ハーモニカ』 故郷を離る、歌

【キャトル・ラバン傑作集】カセット・テープ新発売 価格 ¥2,500円(税別)

ヤング・ハーモニカのアイドルズ：フレッシュでビートのきいたサウンドをお楽しみ下さい。
 曲目/ラバン音頭だ「兎のダンス」/ゴスベル風「冬の星座」/pops調「旅愁」/「しゃぼん玉」のチャチャチャ「ブリブリ」/夕焼け小焼け」/ハワイアン調「むすんで開いて」/おけさ「うれしひなまつり」/デキシー風「一月一日」/ディスコ風「スワニー河」/テクノポップ調「靴が鳴る」/ドドンバ「かもめの水兵さん」/「かわゆい魚屋さん」のロック/クリスマス・ソング「聖夜」と「ジングルベル」/スイング調「証城寺の狸囃子」

申し込み方法：下記ハモ連盟事務局へ問い合わせ下さい。

【アコーディオンのCD東芝EMIより新発売】アコ連盟事務局にて取り扱い中を紹介
 ①【夢みるミュゼット】レーモン・ボワスリー 曲目/ご機嫌いかが/万事OK/ラ・コジア
 ラ/竹の上でのタップ/ババコ/サル・モン・ヴェン/バルン・バルン・ロンド/妙なるバラード/夢みるミュゼット/ジャヴァ・ヴァリエーション/星のマズルカ/ストレス
 ボルカ/木陰のバラード/ミュゼットしましろう/パン屋のジャヴァ
 ②【バリはアコーディオン】レーモン・ボワスリー 曲目/ババはいつもバリ/サ・セ・バリ
 /バリの橋の下/バリの屋根の下/バリのお天気/バリは恋の都/ボンジュール/バリーボ
 エム/バリを語ろう/バリとの再会/バリの空の下/バリはアコーディオン/バりに帰り
 て/アイ・ラブ・バリ/今朝のバリ/想い出のバリ
 ③【ミュゼットの女王】イヴェット・オルネ 曲目/クリスタルの珠/マイナーの行進曲/リ
 ゴラード/カナリヤ/ミュゼットの女王/ポエマ/ジェラシー/地獄のトレイン/山猫/女
 好き/エースのワルツ/3連音符のボルカ/ラ・クンバルシート/エル・レリカリオ/ミル
 ー/エスパニア・カーニ

以上①②③各 税込み定価 ¥2,800円(送料 400円別途)

【ライブハウス JIROKICHI 7:30PM~ 10月度スケジュール】 10ホル・ハーモニカ を楽しむ絶好の場所
 10/1 石川二三夫 / 10/7 八木のぶお / 10/9-10 橋本洋子 / 10/13 妹尾隆一郎 / 10/15
 八木のぶお / 10/16 八木のぶお / 10/17-18 妹尾隆一郎 / 10/25 妹尾隆一郎

資料提供 全日本ハーモニカ連盟・全日本アコーディオン連盟
 〒116 東京都荒川区西日暮里2-37-22 ☎03-3802-1772FAX03-3802-2107

関西八一モニカ連盟
平成4年10月1日発行
第114号
事務局長 新井 善久
〒600 京都市下京区花屋町通
西洞院東入 563
編集局長 上野 忠彦
〒576 交野市星田 8-2-14